

平成28年度行田市自主防災組織リーダー養成講習会

# 自主防災の大切さを再認識

1月21日に教育文化センターみらいで平成28年度行田市自主防災組織リーダー養成講習会が開催されました。

今年度は、岩手県陸前高田市出身の防災士・佐藤一男さんが東日本大震災で被災した経験や避難所運営の実態について講演。佐藤さんは自主防災組織による避難所運営について「行政に頼りすぎず、自分たちが運営する気持ちが大切」と話し、避難所の運営ルールづくりや子育て世帯、高齢者世帯への配慮など具体的な対策について説明しました。参加した自主防災組織のメンバーや自治会長は、時折うなずきながら真剣な表情で講演に耳を傾けていました。



第32回行田市合唱祭

# 歌 い継がれる「行田音頭」

1月22日、産業文化会館では、第32回行田市合唱祭が開催され、19団体がそれぞれ特色のあるコーラスを披露しました。

中盤のクライマックスとなったのが合同合唱の行田音頭。今回の合唱祭のために編曲された「混声合唱のための行田音頭」が発表され、さらに行田音頭の歌詞に出てくる足袋や昔の行田を偲ぶ貴重な映像が上映される中、会場全体でオリジナルの「行田音頭」を歌い上げました。行田の町を元気にするために創られたとするこの音頭を、会場の多くの人が大切に歌い継いでいきたいと感じたことでしょう。



第28回行田市なわとび大会

# 新 記録達成に向けて全力を尽くす

1月28日に第28回行田市なわとび大会が行田グリーンアリーナで開催されました。

市内の小学生407人が「二重とび」や「時間とび」、「長縄1分間とび」など全9種目に参加。大会に向け練習を重ねてきた子供たちは全力で競技に臨み、時間とび女子6年生の部では歴代新記録が達成されました。団体競技では、仲間同士で声を掛け合い、力を合わせて記録の更新を目指しました。



第7回行田市少年少女囲碁大会

# 棋 力の向上を目指して

2月4日、中央公民館で第7回行田市少年少女囲碁大会が開催されました。

今大会には市内外から86人の小・中学生が参加し、19路盤戦ノーハンデ戦、19路盤戦ハンデ戦棋力認定戦、13路盤戦に分かれて腕を競いました。初めて会う相手と互いの実力を確かめるように、昇段・昇級を目指して盤上で静かな戦いを繰り広げた小さな棋士たち。また、日本棋院所属プロ棋士の黒瀧正憲八段による指導碁、三村芳織三段による入門教室も行われ、参加者はプロのアドバイスに熱心に耳を傾けながら自らの棋力の向上を図っていました。



佐間天神社で文化財保護の消防訓練

# 文 化財を火災から守るために

1月28日、佐間にある天神社で文化財保護の消防訓練が行われ、地元自治会住民や消防団員ら約80人が参加しました。

これは、文化財を火災などから守ろうと「文化財防火デー」に合わせ実施されたものです。この日は、敷地内で枯れ草火災が発生し、強風のため社殿に燃え移りそうになったことを想定。近隣住民らは文化財持ち出し訓練や、消火器ならびにぬれシートを使った消火訓練を実施したことで、文化財を火災から守る大切さを再認識することができたようです。



税に関する絵はがきコンクール表彰式

# 絵 はがき制作を通じて高める税への関心

2月9日、商工センターホールで第1回税に関する絵はがきコンクール表彰式が行われました。

行田税務署管内の小学6年生の児童に絵はがき制作を通じて税についての関心を高めてもらおうと、公益社団法人行田法人会により初めて開催された同コンクール。市内からは北埼玉租税教育推進協議会長賞や行田市教育委員会教育長賞など5人が受賞し、表彰された皆さんはうれしそうな表情を浮かべていました。なお、受賞作品は3月10日から15日まで商工センターパブリックホールで展示されます。



ロウバイまつり

# ロウバイの甘い香りを楽しむ

1月22日、古代蓮の里で(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団主催のロウバイまつりが開催されました。

これは、平成14年から園内に植樹されているロウバイを広く知ってもらおうと今回初めて行われたもの。古代蓮会館入館者にはロウバイの小枝がプレゼントされました。

園内北側に広がるロウバイの林を訪れた人たちは、ロウバイの甘い香りを楽しんだり、その黄色い可憐な花を写真に収めたりするなど、思い思いの時間を過ごしていました。

